



コミュニティ・スクール通信

たから

No.12
2021
5月

「あいさつの響き合う地域・学校・家庭づくり」

毎日、見守り隊の方たちとジャンケンをして帰る子どもたち。コロナ禍で見守り隊の方たちもハイタッチからジャンケンに変えて、子どもたちと触れ合えるように工夫をされていました。

「おはよう」「こんにちは」など日常の挨拶があれば、「お元気ですか？」と相手を気遣う言葉かけ、「お手伝いしてくれてありがとう」「今日も頑張ったね」など、言われたら嬉しい気持ちになる言葉かけもあります。こうした関わりを通して、温かく見守られているという安心感を子どもたちが持つていくのだと思います。私も、相手が笑顔になれる声かけ、心がけてみます。



ゲストティーチャー（地域の先生）

学校では、教科学習の中で学校支援ボランティアの方をゲストティーチャーと呼びしています。ゲストティーチャーは、担任の先生と事前に打ち合わせをして「学習のねらい・めあて」「子どもたちにつけてほしい力」を確認します。先生とゲストティーチャーが共通理解をし、学習を進めていきます。そして子どもたちは学習の中で、地域の先生と交流し、地域の方の思いや願いにふれ、自分たちの住む地域への愛着と誇りを持つようになります。

今年度も、子どもたちが学習の中で、学校の畑に作物を植える準備を始めています。先生たちも、子どもたちと何を植えようかなと考え、苗を買いに行ったり、ゲストティーチャーと打ち合わせをしたりしています。私もこの時期は、子どもたちと一緒に畑で学習するのがとても楽しみです。みなさんも一度、学校の畑をのぞいてみてくださいね。お手伝いして下さる方も大歓迎です。



「渡OYAJI」の会「外江おやじの会」

4月に外江小PTA「外江おやじの会」が再結成されました。PTA活動のみならず、地域の活動にも参加しやすいように情報発信されます。「渡OYAJIの会」は昨年、「若鳥丸乗船」を計画され、親子で普段できない体験をしました。地域の方、女性の方も参加オッケーです。子どもと大人、大人と大人も繋がろう。

文責:高梨 典子(地域学校コーディネーター)